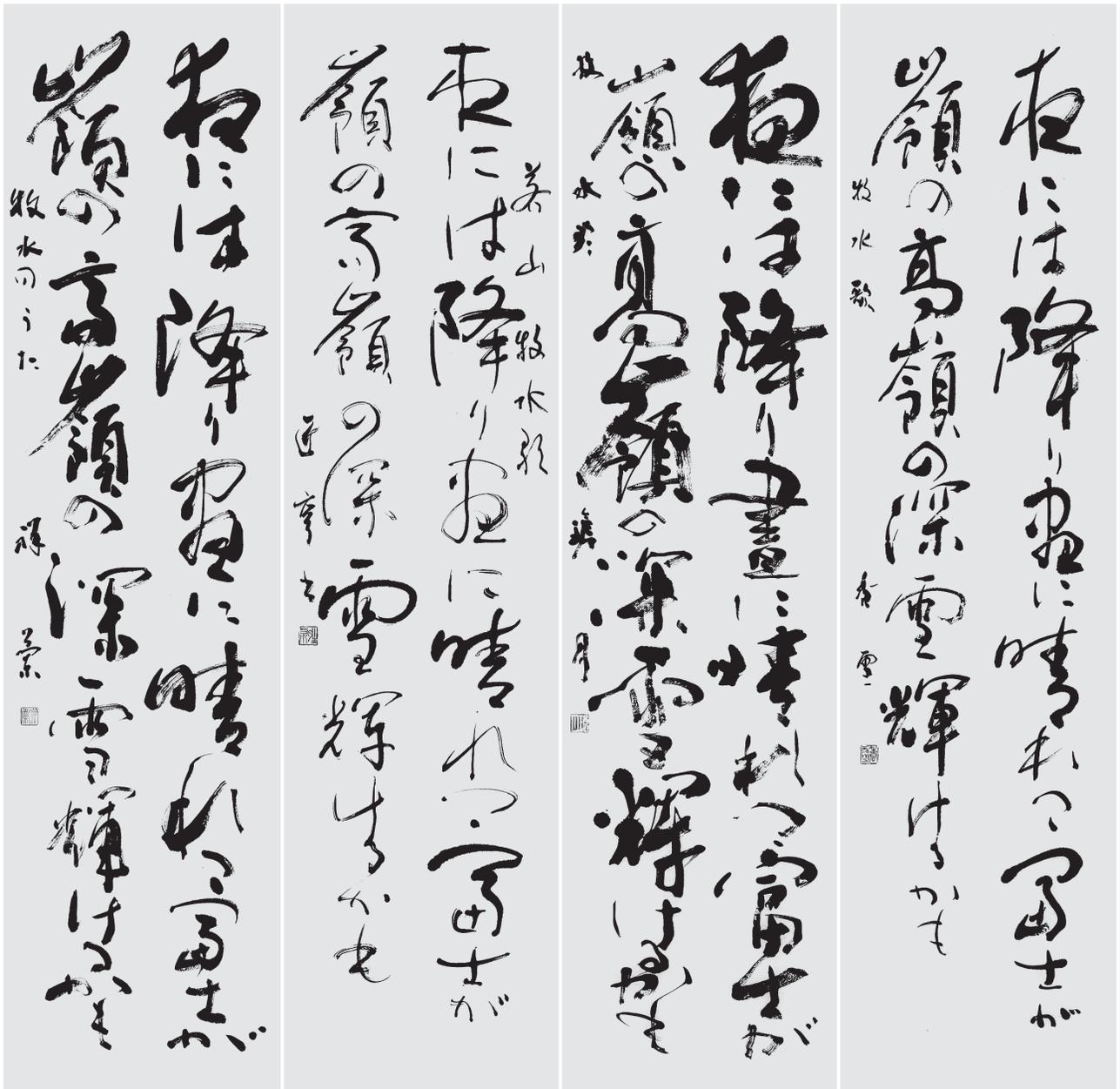


武良霜伯先生選評



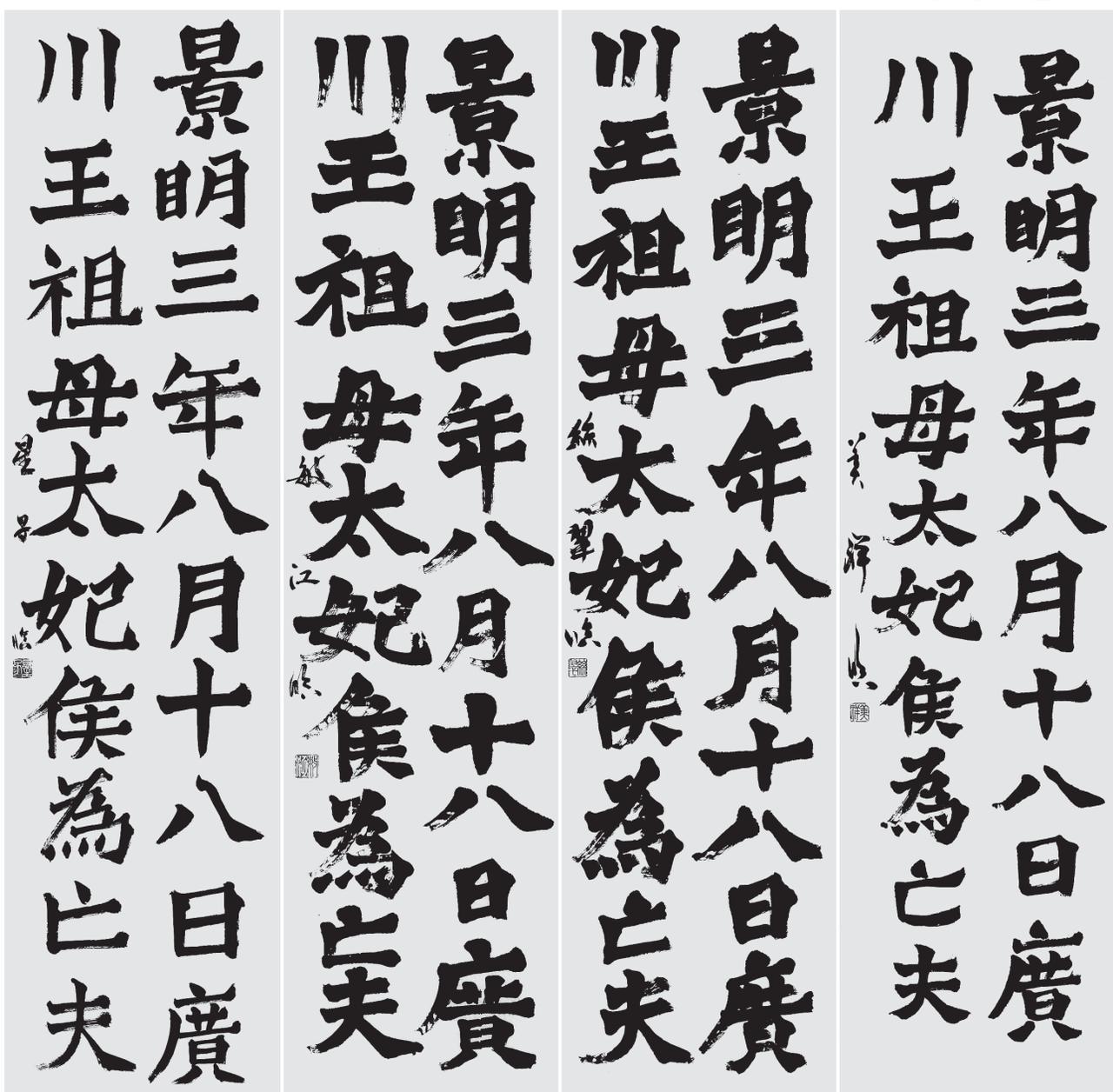
吉田 香雪 推選
 行草の漢字とかなを上手く調和させながら、感情を抑えた静謐な表現は見事だと思います。この作品には、小振りさを感じさせない白の効いた存在感がある。

芳賀 瑠月 推選
 落筆が高く、直截的な表現が快調です。思い切った疎密感のある造形、結体の取り方などに、創作性があり上手く纏めようとしていない、この軽妙な筆致賛成です。

南部 匠亨 推選
 筆が柔らかく良く動いており、弾力と張りのある線が美しく快い。空を切るような軽快なリズム、動きの中に流れを感じ、叙情性のある作品で素晴らしいです。

三ヶ尻 祥蘭 推選
 筆法の展開が自在で、筆路の変化が多彩。文字造形の疎密と墨量を上手く使った構成の工夫や、明朗爽快な書作には、上級者の腕の確かさが光る。

葛西玄涛先生選評



富永美祥 推選
 小さめの文字の間を統一させ、一本筋の通った行立て構成としている。余白の広さが格別で間延びしがちだが、始筆から俊敏な動きの強い線で引き締まった。

香川 絲翠 推選
 太い線を多く使いながらも運筆の速さによる鋭い線と渴筆で、重くならず仕上げた。転折の筆の進む方向と圧力も適切なので、重厚な中にも爽快を感じさせる。

佐藤敏江 推選
 最も豪快な作として選ばせていただきました。このような制作をすると重くなり、荒くなりますが、腕の動きが軽やかなので、透明度が高い明瞭な傑作となった。

桐谷星子 推選
 硬い筆の反発力を巧く利用し、強く鋭い線を追及して書かれている。細い線の直筆と太い線の側筆を使い分け、始筆と終筆の角度に注意して、高度な作となった。

吉田久実子先生選評



露崎桂子先生選評



三木美枝子 五段
筆運びが丁寧で着実。太細の変化の捉え方も見事。筆者の臨書への取り組みの真面目さに惹かれる。更に緩急をつけるの見応えある作に。

田窪優子 準五
淡墨で優しいタッチで練り出される線、迷いがなく美しい。原帖に感動して向き合っている姿が想われる。筆者の温もりも伝わってくる。

田村恵子 準四
潤筆と渴筆が、細くも凛とした線で表現されている。古筆に臨む模範となる様な品格のある作。各行の配置も佳く、更なる精進に期待したい。

宮野秋苑 師範
元永本のもつ繊細で透明感のある線質を見事に表現し各行が響き合っている。静かにゆつくり時間が流れる平安の世を想う魅力あふれる作。

和田鄭子 準師
鋒先を効かせた線質は、原本の特色をよく体得している的確。筆者の真面目な書作がうかがわれる。あと一歩リズムミカルな連筆があると更に佳くなる趣が。

桜井信吉 六段
筆庄の変化、間とり方絶妙で、古筆の捉え方の確かさを観る。日頃の錬度の深さが開花している。渴筆部分を工夫すると更なる趣が。

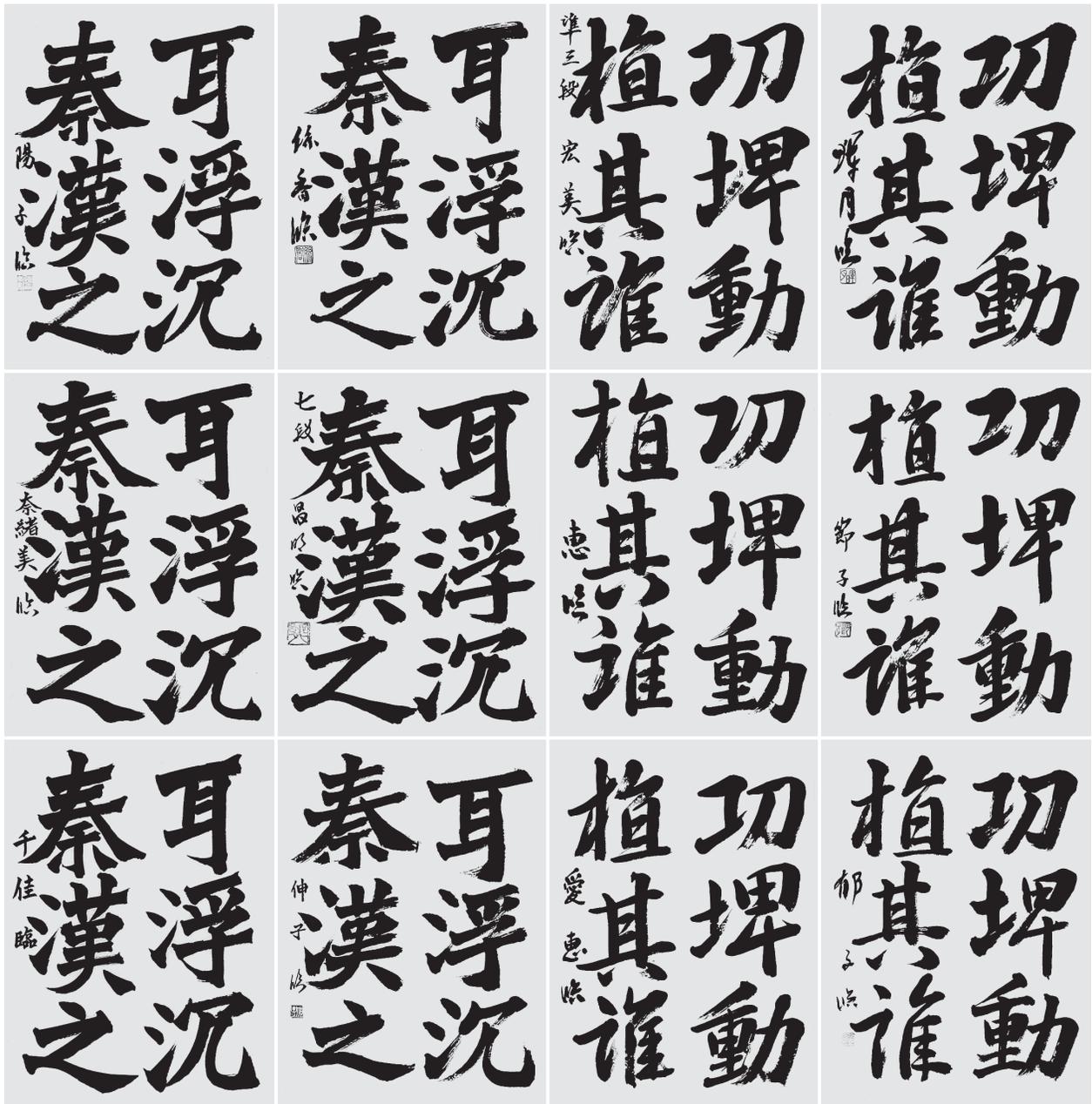
閃光をきく冬霞

閃光をきく冬霞

秦 ひとみ 推選
紙にくい込む線が「閃光」を生かし、最後の「冬霞」がそれをきちんと受けています。墨色の変化も美しく、リズムよくまとめています。余白に無駄がない作です。

松下晃子 推選
大らかでゆつたりとした作品。連綿線も自然で、文字の細太の変化も見事です。潤渇の変化も美しい。做書ながら、作品を自分のものにしていて存在感がある。

江幡太璣先生選評



鈴木暉月 師範
握り柔らかく温かな線が持ち味です。五字目や大きく六字目が窮屈になったのが残念。落款お見事です。印も少し離れたかたです。

佐々木宏美 準三
線柔らかく、リズム感があり、お見事です。お名前も良いので、四字目に渴筆、そして印があれば申し分なし。

鈴木絲香 師範
大きき程良く品格があり白の美しい作品です。はねや払いも最後まで気持ちが行き届いています。お名前もお見事です。印が少し近かった。

片岡陽子 準五
横画の終筆少し気になる所ありますが、筆圧の軽重が良くできていて明るい作品になりました。払いやはねも伸びやかで気持ちが良い。

森 節子 準師
動き大きく伸びやかに書いていて筆脈も素晴らしいが、横画右上がり強いのが少し気になります。お名前ですが、もう少し大きくても良いのでは。

藤野 恵 準三
丁寧な筆遣いで一本一本大切に書いています。遅速の変化の「速」が欲しかった。リズム感もつと表現できたとお見事です。お名前少し大きいです。

平田昌明 七段
やや大きいが、半紙を一杯一杯使って起筆の切れ味も良く張猛龍の力強さ、充分に表現できています。印も一回り大きいのでは。

松原奈緒美 一級
貴方も大きいが元氣よくさわやかな線が魅力です。ただ横画の終筆はどうかな？造像記ではないので「突き上げ」が多すぎると思います。

花井郁子 準六
やや大きく字間が少なくなりましたが、動き大きく伸びやかな線が活き活きと書けています。お名前前の位置どうかな？印薄すぎましたね。寒から温めてね。

堀井愛恵 準初
浮沈が良くできていて線に抑揚があり明るい。一つ気になるのは字形が傾いて見えませう。やはり横画の角度、方向でしようね。

上野伸子 準六
落筆高く切れ味のよい起筆ではねや払いも丁寧に書けています。二行目が少し左に寄ったので行間が狭く、落款場所が狭くなったのが残念です。

千佳 一級
貴方も大きいが元氣よくさわやかな線が魅力です。ただ横画の終筆はどうかな？造像記ではないので「突き上げ」が多すぎると思います。